

# 平成30年度の事業計画書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人ワンダーポケット

## 1 事業実施の方針

ワンダーポケットは病気の子どもが楽しい遊びやふれ合い、心地よい環境などを通してあるがままの自分を表現し、その子らしく日々幸せな思いに満たされて生きていくことが大切だと考える。そのため、病気の子どもやその子どもに寄り添う両親、兄弟姉妹などの家族が少しでも安心して生活できるように、ボランティア活動を通じて支援を行う。

本年度も、ワンダーポケットの活動をより多くの方に理解していただくための活動にも力を入れるとともに、事業の安定的な継続運営のため組織強化活動を積極的に行う。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額 (単位：千円)
病気のこどもたちが良質な医療を受けるための環境整備に関する事業	●クリスマスイベントの開催(継続) クリスマスプレゼントを作成し、仙台市内の病院に届ける。 プレゼントの内容や配布方法等は子どもの年齢、性別、病院側のニーズ等に合わせて対応する。	12月	仙台医療センター、仙台市立病院、東北大学病院、仙台赤十字病院	20人	仙台市内の病院に入院中の0歳～12歳のこども 約150人	
病気のこどもたちとその家族を支援するための事業	●東北大学病院に入院・通院している子どもと家族が低価で利用できる滞在施設“ラッコハウス”の管理・運営を行う。(継続)	通年	ラッコハウス(青葉区滝道)	4人	東北大学病院に入院・通院しているこどもと家族 約120人	
	●病児と同じくサポートが必要である、病児の兄弟姉妹のための交流会(きょうだいの会)を企画し、開催する。(継続)	年4回実施 ①7月 ②9月 ③1月 ④3月	①宮城県内 ②宮城県近郊 ③宮城県内 ④宮城県近郊	各回10～15人	病児を兄弟姉妹にもつこどもたち 各回約10人	
	●これまできょうだいの会に参加した子どもやボランティアとの交流会を企画し、開催する。(継続)	10月	仙台市内	10名	きょうだいの会メンバーやボランティアのOB・OG 約50人	
	●『ボランティア感謝会』を開催し、各活動に携わるボランティアへ感謝を伝えるとともに、活動報告や情報交換の場とする。(継続)	2月	仙台市内の飲食店など	15人	各活動に参加しているボランティア 約30人	

ボランティアを育成するための研修プログラムの提供事業	●小児病棟でボランティアをしている方や病院関係者、教育関係者など子どもに寄り添う全ての人々を対象として、『ボランティア・スキルアップ講習会』を開催する。(継続)	11月	宮城県立こども病院内 愛子ホール	10人	宮城県立こども病院のボランティアほか 約50人	
	●きょうだいの会に参加する大学生ボランティアのための勉強会を開催する。(継続)	6月	宮城大学	3人	きょうだいの会に参加する 学生ボランティア 約10人	
この法人の活動に関する一般社会の理解をより深めるための広報、啓発事業	●HP・ブログ・フェイスブックを管理・運営し、情報発信や活動報告を行う。(継続)	随時	事務局 運営委員	3人		
	●主に会員向けの活動報告となる『ワンダーポケット通信』を発行する。(継続)	年2回 4月 10月	事務局	2人	発行部数 各150部	
	●法人紹介リーフレットおよびラッコハウス案内リーフレットを改訂する。(継続)	随時	事務局	2人		
	●『ボランティア・スキルアップ講習会』の会場において、病気の子どものに関する書籍の展示・販売を行う。(継続)	11月	宮城県立こども病院内 愛子ホール	2人		
	●病児と家族のための滞在施設を運営する団体の交流会『JHHHネットワーク会議』への参加。(継続)	10月	東京都内	2人		
						合計

(2) その他の事業

その他の事業（物品の販売事業及びチャリティー事業）は、2018年度は実施しない。